

No.	特に良いと思う点	
1	タイトル	法人や事業所の今後のビジョンについては幹部職員のみでなく全職員と共有して運営を進めることができます
	内容	令和2年度から令和7年度までの運営強化5ヶ年計画を策定し、今後の方向性を明確にし計画的に運営を進めています。法人の将来的ビジョンについては全職員に説明し、予算編成の際は、経営層のみでなく一般職員も関わることで法人のジョンを全職員で共有化が図れるように努めています。職員自己評価の「事業所が目指していることを理解できているか」の項目ではほぼ全職員が「そう思う」と回答しており、職員の理解が深まっている様子がうかがえます。幹部職員のみでなく、全職員が一体となり運営を進めていることは法人全体の強みとして評価できます。
2	タイトル	職員採用の工夫や育成、離職防止に向けた取り組みにも力を入れてさらなる組織力の向上につなげています
	内容	法人内各事業所にはパーソナルリーダー(育成責任者)を配置して現場職員の業務評価を効率よく実施できる体制を築いています。人事評価もこれまでの年に一度の開催から半年ごと評価を行う仕組みに変更し、的確な業務評価の下で適材適所の人員配置に努め職員の定着率向上につなげています。また今年度は良質な人材確保に向けて、専門の研修を受講して求人の見せ方や求人を出すタイミングについて工夫を図り、良質な人材の採用につなげています、職員の採用、育成、離職防止に向けた取り組みに力を入れてさらなる組織力の向上につなげています。
3	タイトル	コロナ禍により利用者の満足度が低下しないように、職員間で様々なアイディアを出し、活動性の向上に向けて前向きに取り組んでいます
	内容	当事業所は「行動障がいや重複障がいの方への個別支援の確立」、「積極的な地域との交流の推進」を掲げています。特に地域交流の推進や地域資源の活用についてはコロナ禍でも前向きに取り組んでいます。感染対策を取りながら、感染症が少し落ち着いていた時期には外出行事としてぶどう狩りにも出かけています。地域神社の清掃活動についても感染対策を取りながら定期的に実施しています。最近では神社の掃除以外にも清掃活動地域を拡大しています。コロナ禍により利用者の満足度が低下しないように様々なアイディアのもとで前向きに取り組んでいます。
No.	さらなる改善が望まれる点	
1	タイトル	現在準備を進めている災害や深刻な事故等に遭遇した場合に備えての事業継続計画の早期完成に努め、災害対策のより一層の強化を期待します
	内容	災害に備えた取り組みでは、災害時マニュアルを整備しているほか、避難訓練に関しても定期的に実施しています。今後に向けては、現在準備を進めている災害や深刻な事故等に遭遇した場合に備えての事業継続計画について早期の完成を期待します。さらに、災害備蓄品について必要数確保できているかの確認のほか、送迎中に地震に見舞われた際の対応、さらに電話回線が不通になった際に家族に対してどのような手段で利用者の安否を伝えていくのかについてなどもより明確にできると良いと考えます。今後の取り組みを期待します。
2	タイトル	利用者の活動内容についてブログ形式で紹介する等、ホームページをより効果的に活用できると良いと思われます
	内容	事業所の情報は「パンフレット」、法人広報誌の「六三四たより」、ホームページにおいて提供しています。ホームページでは、各事業所の概要や特徴、事業所内の設備などについても確認できるほか、広報誌の「六三四たより」においてもダウンロードできる形式としています。事業計画書も年度ごとで公表しており透明性についても確保しています。ホームページの閲覧者も増えることを考え、今後に向けては各事業所の活動の様子などをブログ形式で紹介する等、更新についても定期的に行い、ホームページをより効果的に活用できると良いと思われます。
3	タイトル	現状全利用者分すべての見直しができていないことが課題となっており、次年度以降アセスメントの定期的な見直しが望れます
	内容	利用者の心身の状況や生活状況及び課題等については「アセスメント・基本情報シート」に記録しています。利用者の基本情報のほか、病歴、感染症、服薬、アレルギー状態のほか、ADL(日常生活動作状況)全般として、歩行、動作、排泄、視力、聴力、言語、意思疎通、食事、咀嚼、嚥下状態等を確認し、現状や課題等を抽出しています。アセスメントについては半年に一度確認し、年に一度更新する仕組みとしています。現状全利用者分すべての見直しができていないことが課題となっており、次年度以降アセスメントの定期的な見直しが望れます。